



健康百話

～今回は東大洲城戸眼科の城戸通宗先生にお話を伺いました。～

講師紹介

東大洲城戸眼科

院長

城戸 通宗 先生

(きど みちむね)

(財)日本眼科学会認定専門医

プロフィール

1985年 佐賀医科大学医学部卒業
愛媛大学医学部眼科勤務
1988年 市立宇和島病院眼科勤務
1990年 鷺の子病院眼科部長
1993年 東大洲城戸眼科開院
2012年 喜多医師会副会長
愛媛県医師会代議員
所属学会 日本眼科学会
日本眼科手術学会
日本眼内レンズ屈折矯正手術学会



電話：0893-24-1010

住所：〒795-0064

大洲市東大洲149-2

■診療科目-----眼科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午 前 (9:00 ~ 12:00)	○	○	○	○	○	○
午 後 (3:00 ~ 5:30)	○	手術	○	手術 レーザー	○	1:00~3:00

※休診：火・木の午後、日・祝日

健康情報!

「はやり目」にご用心



いよいよ夏本番です。皆様、海へ山へと夏のレジャーをご計画でしょうが、今日は夏場に目に関するもっとも気をつけなければならぬ、人から人へ「伝染る」目の病気についてお話ししてみましょう。はやり目は正しくは「流行性角結膜炎」と言います。アデノウイルスというウイルスによる感染症で強力な感染力を持っています。症状は強い充血と多量のめぐみを伴った結膜炎で、涙が出て目がごろごろします。よく耳の前のリンパ節がはれ、あさると痛みがあることが多いです。両目に起こることが多いですが、片目だけのことや、片目に発症し数日後に反対の目にうつることもあります。これぞ結膜炎という症状の強い結膜炎です。

残念ながらこのウイルスに効く薬はありません。カゼの治療と同じで、眼科を受診すると病気があるまで、症状をおさえる目薬を処方してくれます。症状が落ち着くのに1~2週間かかりますので、この間他の人につなぐ注意が必要です。

患者さんの触れたものにさわり、その手で自分の目にさわるとうつるという「接触感染」といううつり方をしますので、患者さんの触れたものにはできるだけさわらないようにし、患者さんのさわったものを消毒するには、煮沸かアルコール消毒がよいです。具体的には70%以上の濃度のアルコールで患者さんの触れた器物をふいてあげるとよいです。

学校や職場は医師の許可が出るまでお休みし、タオルは家人と別のものを使い、風呂は最後に入るなどの注意が必要です。

ともあれたかが結膜炎とばかりにせず、早めに眼科を受診してください。それでは皆様すてきな夏を楽しんでください。

コンタクトの眼を守ろう！



眼のトラブルを減らすためには、コンタクトをはずした後のケアが大切です。

効能・効果 目の洗浄・眼病予防(氷冰のあと、ほこりや汗が目に入ったときなど)



瞳、洗ってキレイになる！

ついに出た!
リセ洗眼液



瞳の中に入ってしまった
すっきり洗浄!
ラメやマスク



3つのビタミン配合!!